



News Letter

2022年
12月

中国四国農政局
広島県拠点

生産量日本一！『福山のくawaii』出荷最盛期

くawaiiは、その青く美しい色から「田んぼのサファイア」とも呼ばれ、果実から立派な芽が伸びるため「食べると芽が出る」めでたい縁起物として、おせち料理や祝いの席で食されています。

現在、出荷が最盛期を迎えており、生産量日本一を誇る福山くawaii出荷組合の組合長である渡辺孝信さんを訪ね、課題や活動内容を伺いました。

栽培管理

くawaiiは、水稻よりも多くの肥料を必要とし、化学肥料より堆肥を使えば使うほど良質となります。現在、関係団体に協力を得ながら、肥料経費の節減と品質の維持向上を両立できる方法を模索しています。

病原菌の発生を防止するため、毎年、土壌消毒を行っています。連作障害により、フザリウム属菌などの防除のため、農薬の散布が必要となりますが、くawaiiに使用できる登録薬剤が極めて少なく、防除の体系化が困難な状況にあります。



渡辺組合長

堀取り作業

水面から出ている葉や莖を刈り取った後、電動ポンプで用水路の水を吸い上げ、株を水圧で浮き上がらせた後、株から伸びたストロンと言われる莖の先にできた果実をもぎ、果実は網状の専用器ですくい上げ収穫します。

ほ場には常に水が張っており、ふくらはぎ付近まで沈むほどのぬかるみの中での作業は、かなりの重労働です。そのため、機械化を視野に入れた方策を関係団体と組合が一体となって検討しています。

PR活動

近年、都市化により生産ほ場が減少したり、食生活の変化などによりくawaiiの需要が減ったことから、生産量が減少しています。産地を維持・拡大するために、関係団体の協力の下に、PR活動を行っています。

その一環として、「福山のくawaii」として2011年に地域団体商標登録を、2020年にはGI登録を行いました。今年は、報道関係機関などから11回の取材を受けています。多くのマスコミの方にくawaiiを取り上げていただくことは、「福山のくawaii」の生産振興や販売拡大に繋がるので、大変有り難いと感じています。

販売戦略(B級品の活用)

市場に出荷するA級品の半値で取引されるB級品の付加価値を高めるため、加工して商品化する取組を行っています。

2003年からくawaiiを使用した「くawaii焼酎福山そだち」を、2013年から油で揚げたスナックの「くawaiiっこ」の販売を開始しました。

本年10月には、くawaiiをふんだんに使った「福山くawaiiカレー」の販売を開始し順調に販売量を伸ばしています。現在、大学や製菓会社の協力を得て、クッキー、ケーキ、まんじゅうの商品を開発中です。



立派に育ったくawaii

B級品：色落ち、芽の欠損などの不良品

おいしく、楽しく、安全に 外食をするときのお願い

新型コロナウイルス感染症対策

農林水産省



消費者庁

おいしく、楽しく、安全に
外食をするときの
お願い



- 外食をするときには、**感染予防に加え、他の方に感染させない気づかい**が必要です。一人一人のご協力
で、**お店を応援**しましょう。
- お店によっては、**席の配置、食事の提供方法などを制限**する場合があります。従業員の方も頑張っています。
ご理解・ご協力をお願いします。

お店の方に意見を言う際は、
伝え方にも配慮しましょう。

食事の前には
手洗い・消毒を
しましょう。



食事中以外は
マスクを
しましょう。

お酌や回し飲みも
やめましょう。

スプーンや箸などの
共有や使い回し
も避けましょう。



長時間の飲食を
避けましょう。

お酒の量は、ほどほどに。
大声での会話も避けましょう。



「3密」を回避し、
換気に協力しましょう。



混雑する時間帯を
避けることも
有効です。

テリバーレーや
テイクアウトも
活用しましょう。

接触確認アプリ (COCOA) をダウンロードしましょう。

詳しくはこちら

厚生労働省
ウェブサイト



詳細は、こちらをご覧ください。

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

令和4年度「鳥獣被害防止に向けた集中捕獲キャンペーン」 について

鳥獣被害のうち、シカとイノシシによる農作物への被害が深刻な状況となっている中で、平成25年に農林水産省と環境省が共同で取りまとめた「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」において、シカとイノシシの個体数を令和5年までに半減させる目標を策定しています。

これを踏まえ、農林水産省と環境省は、令和2年度より、狩猟期（主に11月～翌3月）を中心としたシカとイノシシの捕獲強化を行う「集中捕獲キャンペーン」を実施しています。

今年度は、令和3年度のシカとイノシシの捕獲頭数や被害状況などを踏まえ、捕獲頭数目標を令和3年度の実績に対して約18万頭増の143万頭に設定しました。

鳥獣による被害を減らし、人と野生動物のバランスを取り戻すため、各都道府県が設定する実施期間中の取組にご理解とご協力をお願いします。



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306) FAX(082)228-5817 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>